



フルサトハウス

Furusato-huis



News letter vol.6

2023年12月2日

皆様

もうすぐシンタクラスですね。いかがお過ごしでしょうか。

フルサトハウスより、ニュースレター Volume 6 をお届けします。

フルサトハウスのイベントの報告

9月28日にアムステルフェーンにある日本人コミュニティの拠点であるSAKBにて「コレクティブハウジングでの暮らし」というテーマでワークショップを行いました。実際に「コレクティブハウジング」に住んだことのある3名をお招きしました。今回お話をしてくださったのは、アムステルダム西地区に7歳の時から23年間グループホームに住むフロアさん、東京の「コレクティブハウス かんかん森」に7年住んだあゆみさん、去年フローニンゲンに完成した50歳以上を対象にした「ハウジングコミュニティ エビングホフ」に住むアナマリさんです。キッチンもバスルームも共有する6人のグループホームから、庭と大きな共同空間だけをシェアする40世帯の集合住宅まで、規模も暮らし方も様々でした。たくさんの気づきがありま

したが、その中でも「できるだけ多様な背景の人が住むことが重要」、「細かい決まりはなく、問題が起こったら話し合って決める」、「コレクティブな暮らしに参加する気持ちが大切」とお話されていたのが印象に残りました。お話を聞いたあと、グループに分かれて自分たちだったらどんなコレクティブな暮らしがしたいかについて話し合いました。

コレクティブハウジングの共通認識である、「他人と一緒に住む」や「様々なものを住人と共有」から一歩踏み込んで、自分には最低限どのくらいのプライベートスペースが必要なのか、どこまで何を他の人と共有できるのかというレベルで考えると、意外に人それぞれ全く異なった考えだったり、「人とつながる暮らし」を考えるうえでとても刺激になりました。



JACOP 文化祭

JACOP (Stichting Japanese Communities Platform) 主催による第2回目文化祭が10月21日に行われました。JACOPの賛同団体でもあるフルサトハウスは、フルサトハウスプロジェクトを多くの人に知ってもらうため、「フルサトハウスとは」というテーマで、フルサトハウスプロジェクトが立ち上がった背景とともにフルサトハウスの構想を伝えるプレゼンテーションを行いました。うれしいことに参加者の一人がレポート記事を書いてくれましたので、是非ご一読ください。

https://note.com/sat_sat/n/n5444c964e7d4

長田幾子さんお別れの会

フルサトハウスプロジェクトの発足者の一人である長田幾子さんが9月9日にお亡くなりになりました。長田さんはフルサトハウスだけでなく、日本人コミュニティに対して多大な貢献をしてくださいました。最後までフルサトハウスのことを気にかけてくださっていたと伺いました。長田さんがいなくなってしまったのは、フルサトハウスにとってはとても辛く悲しく、そして大打撃ではありますが、彼女の遺志を継いでこれからも一層頑張って参りますので、ご支援及びご協力お願いします（お別れの会は、JACOP主催にて9月28日に行われました）。



フルサトハウスフレンズ募集

フルサトハウスは、日本の文化、特に季節と食を楽しむことができる空間を通じ、あらゆる文化や世代を大切にし、異なる背景・興味やニーズを持つ人々が集うコミュニティを作ることが目的としています。

フルサトハウスでは、仲間を募集しています。規約については、以下のリンクをご覧ください。

https://www.furusatohuis.nl/_files/ugd/58f9f3_fe21bb19bc7741ddb6011bbc025cad7d.pdf

以下のリンクよりお申込みいただくことができます。

<https://www.furusatohuis.nl/ja/vriend-woorden>

リンクからのお申し込みを希望されない場合、info@furusatohuis.nl までご連絡ください。

Stichting Furusato Huis Project